



『 動脈硬化について 』

日本における死因統計では、癌の次が動脈硬化性疾患であることをご存じでしょうか？

血管は、全身に血液を巡らせて酸素や栄養素を運び、老廃物などを集める働きをしています。加齢に伴って、血管の持つしなやかな弾力性は徐々に失われ、硬くなったり内側が狭くなったりする状態を「動脈硬化」とよび、脳卒中や心筋梗塞など様々な疾患の原因になります。動脈硬化が進む原因として、「高血圧」「脂質異常症」「喫煙」「肥満」「糖尿病」などが挙げられます。

当院の健診では、動脈硬化の指標となる検査として、両手両足の4カ所の血圧と脈の伝わる速度を調べる「血圧脈波検査」、網膜の細小血管を直接観察する「眼底検査」、首の血管に超音波をあて血管壁の厚さやプラークによる閉塞がないか調べる「頸動脈エコー検査」、頸動脈エコー検査+脳のMRIを行う「脳ドック検査」などがあります。

ご自身の動脈硬化の進行度を知り、しなやかな若い血管を目指しましょう。

鹿児島厚生連病院
臨床検査技師
唐鎌 梢